

美濃焼の“これから”を考えます

陶磁器試験場(☎59)8312)

心を満たす“蒼”。

今月は、見る人を和ませる“蒼”の色彩が特徴的な陶器、「トルコ釉のそば猪口」、「トルコ釉のプレート」を紹介します。

「見る人の心が反応する色を出したい」という思いが、形となったトルコ釉の陶器。トルコ釉は釉の厚み、焼成する窯の中の配置、焼成の仕方によって質感と色彩は不規則に変化してしまうため、色の深みを出すのが特に難しい。自分の求める色に到達した頃には、トルコ釉専用の窯を用いるようになっていた。

完成したトルコ釉の器は、海の色に似ていて、自然と気持ちが安らぐ。人の心を満たす“蒼”。それは、忙しい日々の暮らしを穏やかな時間に変え、生活にゆとりを与えてくれる。



「トルコ釉のそば猪口」
「トルコ釉のプレート」

有限会社丸義(泉町)
酒井竜彦さん



TOTTOKI作品は陶磁器試験場で
展示しています。

市長の部屋から 7月15日(金)

文化プラザ・サンホールで、6期24年の長きにわたり土岐市長を務められ、5月20日に亡くなられた、土岐市名誉市民の塚本保夫さんをしのぶ会が行われました。市民や関係者ら約350人が出席し、故人との思い出を振り返り別れを惜しみました。

今静かに塚本様のご遺影を前にすると、活躍された在りし日のお姿がしのばれます。また、ご遺族の皆様の悲しみはいかばかりかとお察し申し上げ、心より哀悼の意を表します。

塚本様は土岐市長に就任されて以来、市政全般にわたりご尽力され、現在の交流文化都市へと向かう礎を築かれました。また、地方自治の発展のための多大な功績は、市民の貴重な財産であり、誇りであります。塚本様の市政に対する強い情熱と固い遺志をしっかりと受け継ぎ、土岐市が理想のまちとしてさらに発展するよう、市民の皆さんと努力してまいりますことをお誓いいたします。

土岐市長 加藤靖也

